

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

この大会は2019年日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項、ならびに競技注意事項により実施する。

2. 練習場及び練習について

競技中の練習は、附属競技場、バックストレート外のエリアを使用すること。また、競技に支障のない限りマーシャルの指示に従い、バックストレートを使用することはできる。その他は、P7の公開練習要領を参照すること。

3. 競技者の招集方法について

- 競技者係(招集所)の位置は、正面スタンド裏(競技場正面入口右側)に設ける。
- 競技者は、出場種目の招集開始時刻がきたら選手招集エリア内で待機し、招集完了時刻までに選手控えテント内で競技者係からの点呼を受ける。その際、腰ナンバーを受け取り、スパイクシューズなどの競技場へ持ち込む物品の確認を受ける。
- 招集はすべて競技者係の指示に従う。招集開始時刻・完了時刻は次の通りとする。

トラック競技	競技開始時刻	30分前～15分前
フィールド競技	競技開始時刻	40分前～30分前
- 招集に遅れた者の出場は認めない。
- 棄権届(用紙は競技者係に備えてある)は、競技開始60分前までに競技者係へ提出すること。
- 招集完了後、勝手に招集場所を離れてはならない。移動は、競技者係の指示に従う。
- 2つの競技に出場する競技者のうち、招集時間や競技時間が重なる場合は、2種目同時出場届(用紙は競技者係に備えてある)を提出し、招集の際に競技者係の指示に従って行動する。

4. ナンバーカードについて

- すべての競技者はユニフォームの胸、背に交付された大きさのまま確実に付ける。跳躍競技の競技者は、胸または背のいずれか一方でよい。
- トラック競技の出場者は招集の際、競技者係より腰ナンバーカードを受け取り、ランニングパンツの右腰やや後方に取り付ける。(フィニッシュ後は、必ず回収係の補助員へ手渡すこと)

5. レーン・競技順

- トラック競技予選のレーン順、フィールド競技試技順はプログラム記載順による。
- 決勝の組み合わせ及びレーン順は番組編成員で抽選し、競技場正面入り口付近の記録掲示板及び招集エリアに掲示する。
- 短距離走では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンに沿って走り、前後左右の安全を確認してからレーンを出ること。

6. 競技について

- タイムにより次のラウンドの出場者を決める際に同記録者があるときは、競技規則第167条②を適用する。
- 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。
競技規則第162条5(C)は本大会では適用せず、注意を与えるものとする。
- 男女1500m、男3000mはタイムレースで行う。
- 女3000mは、第1グループを2/3、第2グループを1/3に分けてスタートする。
- ハードル種目の高さインターバルは次の通りとする。

区 分	高 さ	Stから第1	インターバル	最終からF	備 考
男子A 110mJH	0.991m	13.72m	9.14m	14.02m	ジュニア男子規格
男子B 110mH	0.914m	13.72m	9.14m	14.02m	中学男子規格
女子A 100mYH	0.762m	13.00m	8.50m	10.50m	女子規格でインターバルが長い
女子B 100mH	0.762m	13.00m	8.00m	15.00m	中学女子規格

- (6) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。
 男子A 練習 1m50 1m70 競技 1m55-1m60-1m65-1m70 まで5cmずつ 以降3cmきざみとする。
 女子A 練習 1m25 1m45 競技 1m30-1m35-1m40-1m45 まで5cmずつ 以降3cmきざみとする。
- (7) 砲丸投の重量は次の通りとする。
 男子A …… 5.00kg 男子B …… 4.00kg
 女子A …… 4.00kg 女子B …… 2.721kg
- (8) 円盤投の重量は次の通りとする。
 男子 …… 1.50kg 女子 …… 1.00kg
- (9) 円盤投、ジャベリックスロー計測ラインは以下の通りとし、2投目以降、この記録に満たない記録は計測しない。

種目	男子	女子	種目	男子	女子
円盤投	20m	18m	ジャベリックスロー	37m	27m

(10) 助力

競技規則第144条を適用する。競技場内での助力は禁止するが、コーチ席（エリア）からの助言については競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。また、選手はミュージックプレーヤー・携帯電話・その他類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。

7. 競技場への入退場について

- 競技場への入退場は全て競技役員の誘導により行う。競技者・監督といえども、その競技に出場する者以外は競技場内に入ることはできない。
- フィールド競技における競技者は、当該競技役員、マーシャルの指示に従い入退場する。

8. 競技用具について

- 競技に使用する用器具は、全て主催者が準備したものを使用する。
- スパイクピンは、全天候用を使用し、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。

9. その他

- 選手権獲得者には賞状と選手権章を、2位から8位までの入賞者に賞状を授与する。
- 表彰は各種目の決勝終了後ただちに行うので、入賞者は担当役員の指示に従い表彰席に待機する。
- スタート地点で脱いだ衣類の運搬は行わない。あらかじめ用意された袋に入れ指示された所定の場所に置き、各校（監督）の責任において引き取り、競技者に手渡すこと。
- 正面スタンド前（本部席前）は通行禁止とする。
- 競技進行上、競技開始時刻に多少の変更もあり得るので、アナウンスを聞き漏れのないよう注意すること。
- 医務室は本部内に設けてあり、応急処置までの用意がある。
- 競技結果は釧路地方陸上競技協会ホームページ上に掲載する。

10. テントの設置について

- 大会前日の設置は、12時00分からとする。
- 大会期間中、テントを張ったまま置いておくことは可とする（畳まなくてもよい）。
ただし、強風で飛ばされないように固定すること。破損や紛失等の責任は一切負わないので、各校の責任で判断すること。
- 競技場外も設置してもよいが、その際は必ず撤去すること。（主催者側で預かることはしない）
- メインスタンドへの設置は認めない。